

請願第1号

中津市内公立小中学校へ届けるテーブルフラワープロジェクトに関する請願書

【請願趣旨】

現代、ストレス社会と言われる中、近年子どもたちの抱えるストレスは益々大きいと言われていいます。さらに、コロナ禍において子どもたちの心の健康への影響が世界中で指摘されています。

そこで「花の持つ力」で、子どもたちのストレスをリセットし、思いやりの心や、感動する心などの「豊かな人間性」を育てて頂けたらと考えます。

一般的に、お花を見たりもらったりするとき、ドーパミン、オキシトシン、セロトニンという3つの物質が分泌されます。これらは『幸せホルモン』と呼ばれ、これらの分泌によりストレスが和らぎ幸福感を得られ、モチベーションがアップするなどの効果があると研究結果があります。

また、中津市においては、国の定めた「花きの振興に関する法律」の「(花きの文化の振興) 第十六条の2」施策を長きに亘り講じていない現状がある中、「テーブルフラワープロジェクト」において、花きの活用に努めるべきだと考えます。

以上のことから、中津市の未来を担う子どもたちが、毎日を過ごす教室において、花をめでることで、笑顔があふれる学校生活を整えるためにも、「中津市内公立小中学校へ届けるテーブルフラワープロジェクト」について請願致します。

【要旨】

① 国の定めた花き振興に関する法律

(目的) 第1条

別紙

(花きの文化の振興) 第16条の2

別紙

② 「児童、生徒等を対象とした花きを活用する取り組み」について

文部科学省のデータによると、子どもたちの不登校や、いじめ、自殺者が増加しています。

この現状に対して、社会総がかりで対応していくことが求められている中、花き業界が協力をして花を通じて笑顔溢れる学校づくりの一端を担う。

③ 「花き業界への明るい未来」について

約3年間コロナ禍により花き生産と販売が減少し、花き業界はダメージを受けました。中津市プレミアム商品券も第6弾となりましたが、花き業界にとってはほとんど

恩恵を受けていないのが現状です。県内の花き生産者と販売業者（生花店）が、地域社会のために必要とされ、活力を取り戻せる機会とします。

以上

<テーブルフラワープロジェクトの具体的な内容（案）>

【対象】 中津市内公立小中学校の約 310 クラスの生徒

【内容】 1 クラス 1,000 円程度の花瓶付き花束を、月に一度、中津花商組合員（約 25 社）が職員室までお届けする。

【予算】 毎月 1,000 円×310 クラス＝310,000 円

夏休みを除く 11 か月×310,000 円＝3,410,000 円（税別）

継続することで効果が持続するものと思われるので、毎月届けることが大事だと考えています。

令和 5 年 6 月 1 日

請願者 中津市大字永添 6 2 0 - 1 中津花市場内
中津花商組合 組合長 上石 恭裕

中津市議会議長 相良 卓紀 殿